



但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G1612号)

平成28年8月23日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

ハタハタ・アカガレイ・エチゼンクラゲ等に関する情報について (平成28年度底びき漁期前調査結果)

平成28年8月8～9日および同16～19日に但馬沖～隠岐東方の水深180～350m(図1、表1)で、漁業調査船「たじま」により、トロール網試験操業を実施しました。結果の概要は以下の通りです。

① ハタハタに関する情報

- ・大山沖～隠岐東方の水深240m付近でまとまった入網がありました。(表1、図2)
- ・1網当たり入網重量は全域(但馬沖～隠岐東方)平均では87.3kg/網で、前年および'05-'15年平均を上回りました。(図3)
- ・漁獲物は3才魚(体長18cm前後)と2才魚(16cm前後)の大・中型魚が主体で、小型の1歳魚(14cm前後)は低水準でした。(図4)

以上のことからハタハタの秋漁(9～10月)について、**漁場は大山沖～隠岐東方を中心に形成されるでしょう。漁獲物は3才魚と2才魚を中心に構成され、1歳魚は少ないでしょう。漁獲量は前年および近年の平均を上回るでしょう。**(図5)

② アカガレイに関する情報

- ・アカガレイの入網は但馬沖でまとまって認められました。(表1、図6)大型のメスは水深240m以深で入網しました。(図8)
- ・但馬沖～大山沖を平均した入網重量は前年を上回りましたが、'05-'15年平均は下回りました。(図7)

以上のことからアカガレイの秋漁について、**漁場は但馬沖を中心に形成されるでしょう。漁獲量は前年並みかを前年をやや上回るでしょう。**

③ エチゼンクラゲに関する情報

- ・但馬沖の2点および大山沖・隠岐東方の全点で入網が認められました。(表1、図9))
- ・傘径は30-125cで、最も多かった隠岐東方190mでは34個体、200kgの入網がありました。(表1、図9))
- ・鳥取水試によると、同様の調査で隠岐北方から日御碕沖では5～30個体が入網したとのこと。(図9)
- ・大量発生年並みだった黄海、東シナ海からの流入は終息しつつありますが、沖合域にかなりの量が流入している可能性があり**警戒が必要**です。
- ・大型クラゲ出現情報(JAFIC; <http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)や(水研センター; <http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/index.html>)が公開されています。最新の情報収集に努めて下さい。

④ その他の情報

- ・ハタハタ、アカガレイなどと同時に、ズワイガニが多く混獲される海域があります。9～10月は水温が高く、これらは再放流してもほとんどが死んでしまいます。昨年までに導入した**混獲回避漁具を積極的に活用してズワイガニの保護に努めて下さい。**

以上、操業の参考にして頂ければ幸いです。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター (担当：大谷)

TEL : 0796-36-0395 FAX : 0796-36-3684

email : nouringc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ : <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>

平成28年度底びき漁期前調査結果 資料

1)調査の目的

底びき解禁前のハタハタ、アカガレイ、エチゼンクラゲ等の分布、体長組成等に関し、情報の収集と提供を行う。

2)調査日時

平成28年8月8～9日(但馬沖)

平成28年8月16～19日(大山沖～隠岐東方)

3)調査海域

但馬沖から隠岐東方にかけての水深180～350m海域(図1参照)

4)使用船舶

兵庫県 漁業調査船「たじま」(199トン)

5)調査内容

①トロール試験操業

図1に示した計15点において、底びき試験操業を実施。
使用漁具:着底トロール網、袋網8節、袖先間隔約26m、
間口高さ約2.1m、曳網方法:3knot、30分(約1.5マイル)曳き。

②海洋観測

定点におけるSTDによる海底までの水温、塩分観測と、網に取り付けたセンサーによる海底水温の計測を実施。

③魚探反応の収録

トロール曳網時の魚探反応を収録。

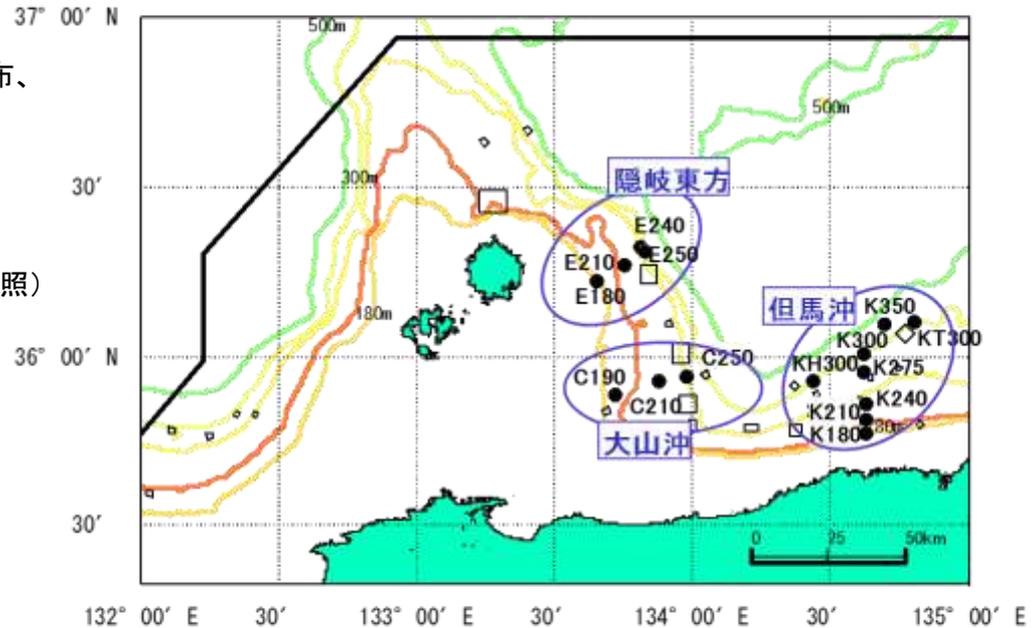


図1 調査海域図

表1 定点別魚種別入網状況

月日	曳網開始時刻	エリア	操業点番号	平均曳網水深	曳網開始位置		海区番号	表面水温(°C)	海底平均水温(°C)	魚種別入網重量(kg)						
					北緯	東経				ハタハタ	アカレイ(マガレイ)	ソウハチ(イ)	ヒレグロ(ヤマ)	ハイ類	ヒ類	イシセンクラケ
					度分	度分										
8/9	6:10	但馬沖	K350	339.2	36 5.8	134 41.3	8086	28.5	0.8	2.0	35.0	0.0	0.2	3.8	4.5	0
8/8	15:51		KH300	303	35 55.9	134 25.7	8191	29.9	1.1	1.1	52.0	0.0	0.0	2.0	2.3	8 1個体,傘径55cm
8/9	10:10		K300	302.2	36 0.8	134 37.0	8089	28.4	0.8	2.9	74.2	0.0	0.0	5.3	2.2	0
"	7:45		KT300	307.3	36 6.4	134 47.6	8086	28.4	0.7	3.4	132.1	0.0	0.0	3.2	2.2	0
"	11:54		K275	276.7	35 57.5	134 36.8	8097	28.5	0.8	0.5	34.5	0.0	0.0	7.4	3.4	52 1個体,傘径125cm
8/8	13:27		K240	234.6	35 51.7	134 37.2	8097	28.9	2.3	10.4	62.0	1.2	3.5	38.5	1.0	0
"	11:48		K210	212.6	35 48.8	134 37.2	8098	28.8	3.5	9.1	45.7	0.0	0.0	30.2	0.3	0
"	10:14		K180	181	35 46.7	134 37.2	8098	28.7	5.9	2.5	1.1	0.0	11.8	0.0	0.0	0
8/16	12:52	大山沖	C240(250)	249.7	35 56.8	133 58.4	8291	29.4	1.3	395.6	13.3	1.5	0.7	16.2	0.0	29 2個体,傘径80cm
"	14:44		C210	212.3	35 55.7	133 52.3	8291	28.8	1.8	47.6	0.9	8.8	1.6	30.9	0.8	66 4-5個体,傘径75-100cm
"	16:30		C180(190)	191	35 53.3	133 43.0	8294	28.7	3.3	47.4	3.3	5.3	0.4	14.2	0.6	75 4-5個体
8/19	8:55	隠岐東方	E250	251.9	36 18.9	133 49.3	8285	28.1	1.0	136.8	9.2	0.3	3.8	9.6	0.6	1 1個体,傘径30cm
8/18	14:23		E240	243.4	36 19.3	133 48.4	8285	28.7	2.0	508.8	3.2	0.3	3.5	8.0	0.3	30 3個体,傘径60-70cm
"	16:16		E210	211.3	36 16.2	133 45.1	8285	28.8	2.1	22.9	0.6	0.2	21.8	17.5	2.0	56 4個体,傘径30-100cm
8/19	6:37		E180(190)	193.7	36 13.6	133 39.1	8288	28.2	2.6	9.4	0.0	0.4	0.0	4.7	0.1	200 34個体,傘径55-110cm

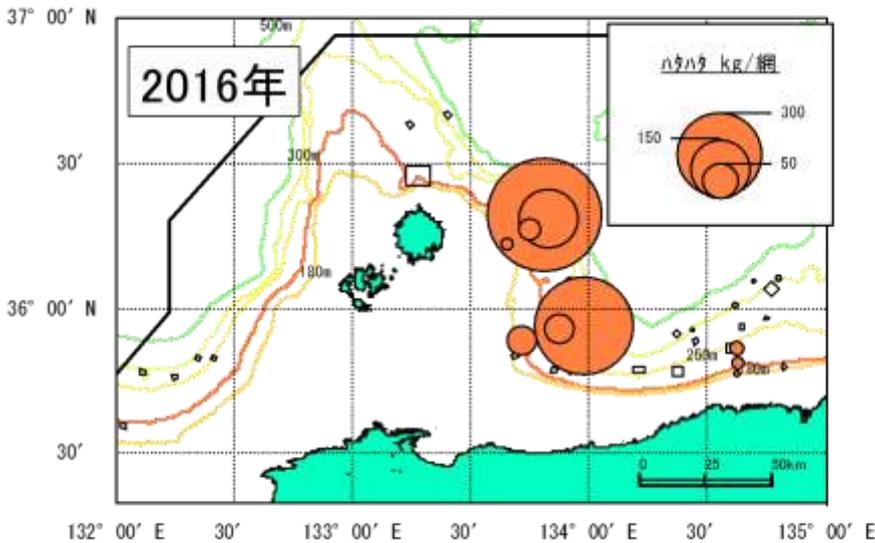


図2 ハタハタ入網重量の分布(kg/網)

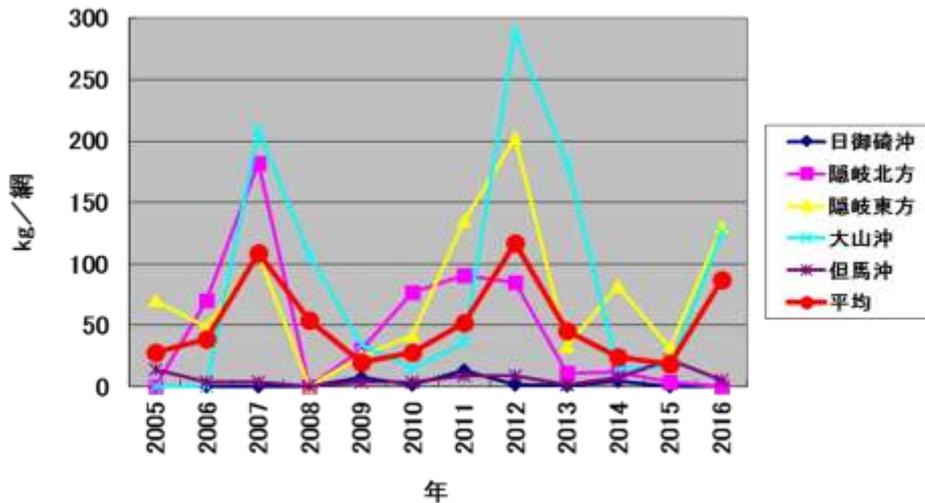


図3 エリア別 1 曳網当たりハタハタ入網重量 (曳網水深166-255m)

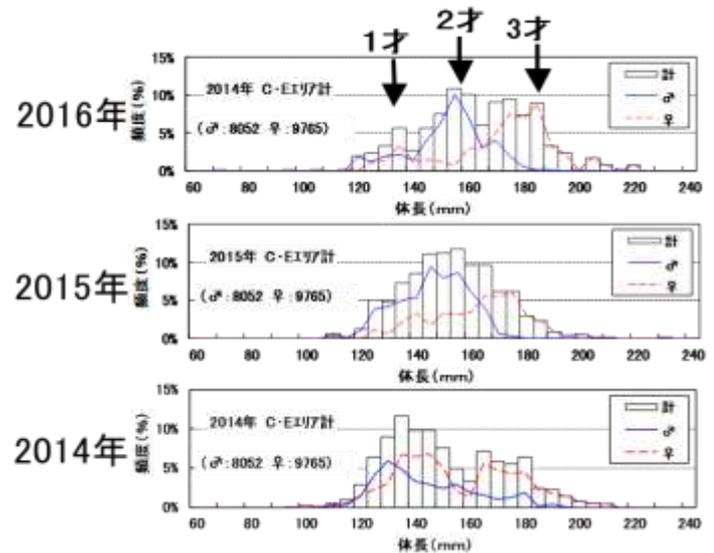


図4 近年のハタハタ体長組成 (隠岐東方～大山沖)

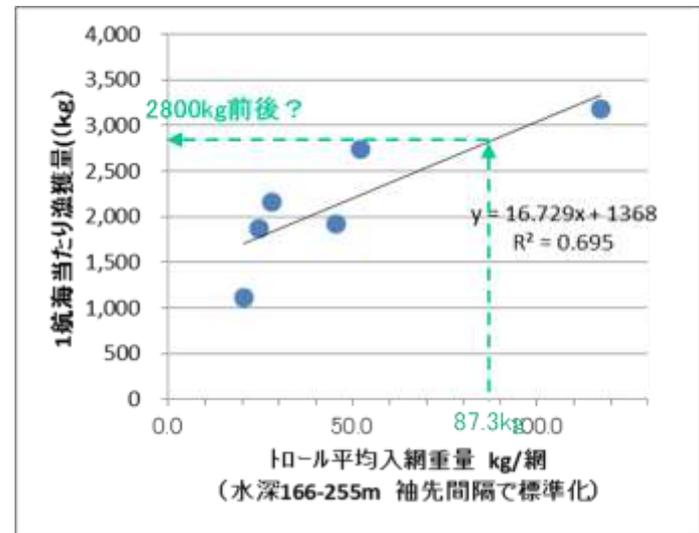


図5 調査1 曳網あたり入網重量と初漁日の1航海あたり漁獲量の関係

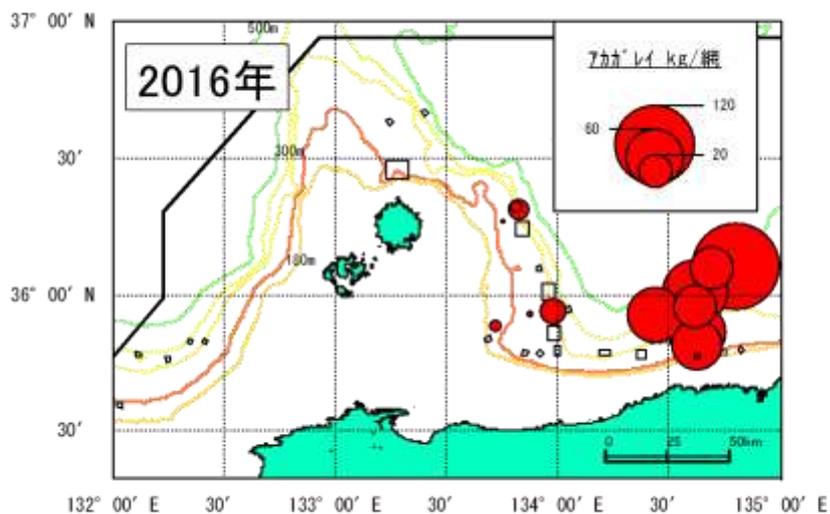


図6 アカガレイ入網重量の分布 (kg/網)

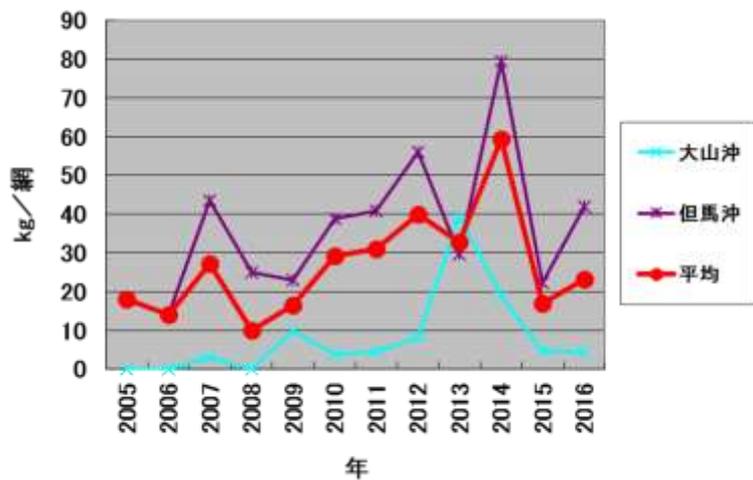


図7 エリア別 1 曳網当たりアカガレイ入網重量

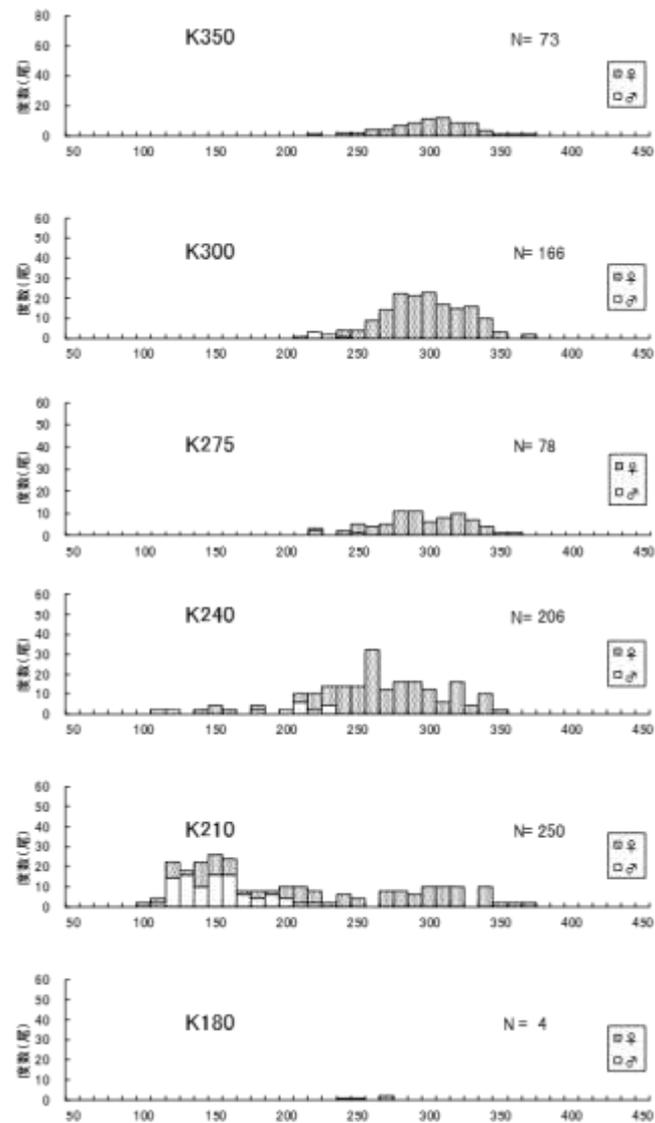


図8 定点別アカガレイ体長組成(香住沖)

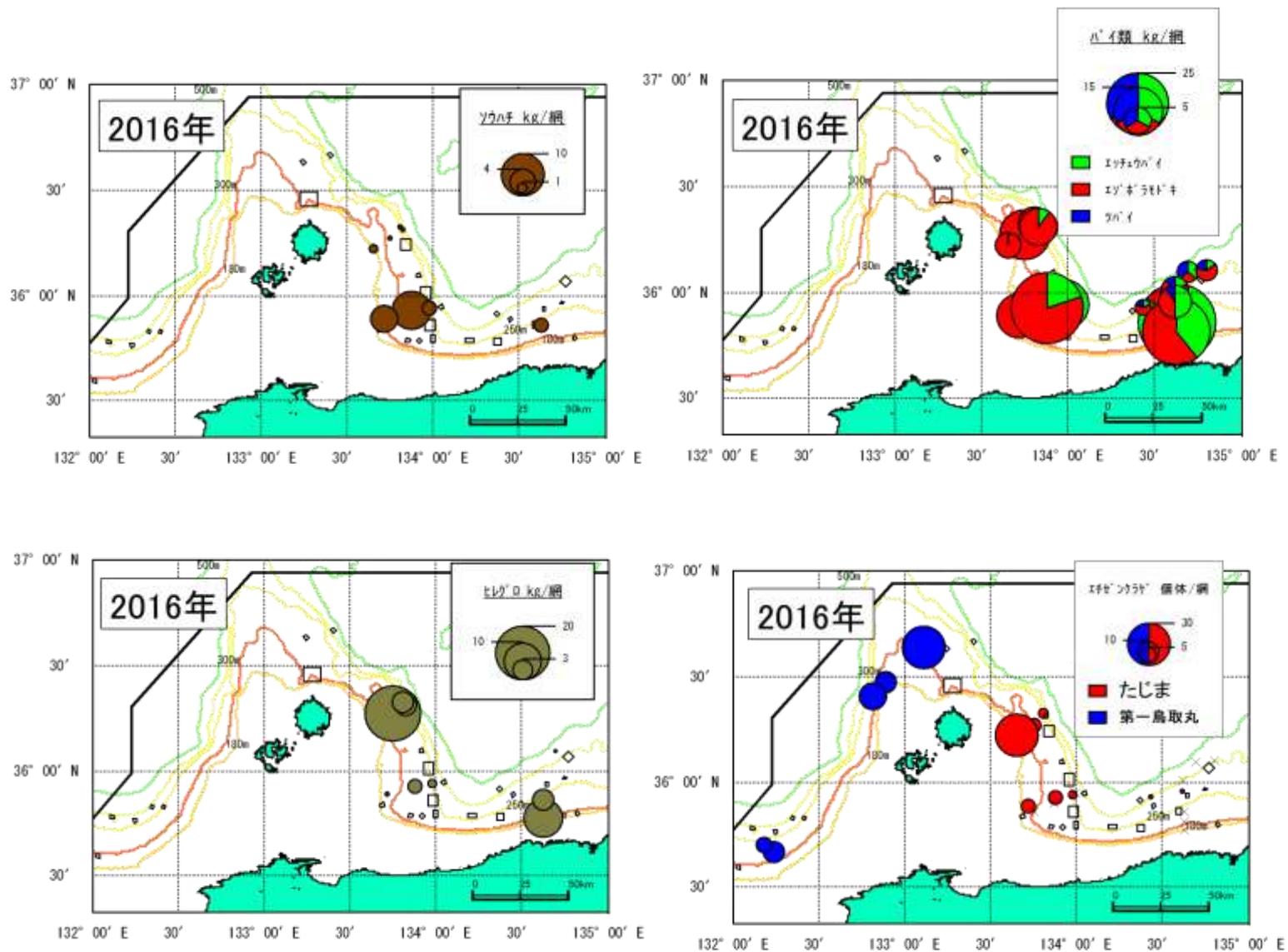


図9 その他主要魚種等の入網重量の分布(kg/網)